

令和 8 年度 旭川市農業センターの取組について

◎農業センターの主な役割 - 地域に根ざした農業試験研究機関として、生産現場のニーズに対応した試験研究や土壌分析等を行い、それによって得た結果や情報を生産者に提供することにより農業生産の基礎を支えるとともに、担い手確保のための新規就農対策や、持続的・安定的な農業生産のための土づくり対策を推進しています。 - 都市と農村の交流に関する事業として、市民の皆様が農業に親しんだり、地域の農産物について理解や関心を深めていただくための取組を進めています。		◎農業を取り巻く課題 ●少子高齢化による担い手・労働力不足 ●生産コストの上昇 ●気候変動に伴う栽培環境の変化
農業技術支援に関する事業 1 地域の課題に対応した試験研究（R8：10 課題） 【農業センター管理費 R8：67,076 千円】 (1) 市内の基幹品種選定に関する試験（主な関係先） - 高温期におけるホウレンソウの品種比較試験（旭川青果物生産出荷協議会 ほうれん草部会） - 高温期におけるサニーレタスの品種比較試験（同 サニーレタス部会） - 冬期の軟白長ネギ品種比較試験（同 ねぎ部会） (2) 新たな品目や栽培法、資材等の導入に関する試験（主な関係先） - 夏秋ナスの養液栽培試験（旭川青果物生産出荷協議会） - ナンバンの養液栽培試験（同 なんばん部会） - バイオスティミュラント資材効果確認試験（旭川青果物生産出荷協議会） - 外気導入装置効果確認試験（旭川青果物生産出荷協議会） - サツマイモ苗の増殖実証試験（JA あさひかわ・JA 東旭川・JA たいせつ） - 下水汚泥焼却灰由来肥料の効果検証試験（市下水処理センター） - シャインマスカットの栽培試験（JA あさひかわ） 3 新規就農者及び新規園芸参入者の育成 【農業担い手研修育成費 R8：224 千円】 (1) 新規就農者の育成 - 北海道認定の研修教育機関として 2 年間、農業センターにおいて研修を実施（指導農家による栽培実践研修含む。） - 就農後は、訪問技術指導等により営農をサポート ※R1 から R8 までの研修受入 17 人 (内訳(人)：営農 12、研修中 3、研修中止 1、離農 1) (2) 新規園芸参入者の育成 - 新規就農後概ね 5 年までの生産者及び新たに園芸作物の栽培を始める生産者を対象とした研修及び訪問指導を実施 ※連携中枢都市圏 8 町の研修生も研修に参加可能 4 持続可能な営農のための土づくり支援 【土づくり対策支援費 R8：7,067 千円】 - 適正施肥のための土壌分析診断の実施（R8 予定 2,100 点） - 土づくりに特化した巡回訪問：生産者を個別訪問し、作物の生育不良等の原因特定や対策の提案、土壌改良方法等についての指導・助言を行う（年間延べ 80 戸程度）。 『土づくり通信』の発行（年 4 回発行。市内生産者に配布） 5 残留農薬事故防止の取組【クリーン農業技術試験研究費 R8：380 千円】 - 残留農薬リスク調査対策（基準値超過リスク調査のための外部委託分析、原因調査、再発防止に向けた情報共有・啓発活動） - 残留農薬事故防止を目的とした普及啓発活動、旭川青果連 GAP 推進の取組への支援 - 環境負荷低減に向けた、生物刺激剤であるバイオスティミュラント資材を用いた作物栽培実証試験の実施 2 生産現場への普及 - 品目部会の生産者研修会・試験ほ場の見学 - 職員による現地巡回・個別相談対応 「栽培マニュアル」の作成・提供 - 試験成績書(概要版)の配布・HP 公開 旭川市内における 無加温ハウスでの サツマイモ苗増殖マニュアル (2026 年版)  旭川市農業センター 令和 7 年度 旭川市農業センター試験成績書 (概要版)  令和 8 年 3 月 「サツマイモ苗増殖マニュアル」「試験成績書(概要版)」 6 野菜生産の労働力不足解消 【ICT 環境制御技術実証事業 R8:443 千円】 - ICT 技術を活用して、ビニールハウスの温度管理や灌水管理を自動で行い、長ナスの生育を検証する事業 - 技術マニュアルを整備するほか生産者ほ場の巡回や研修会等を開催して、技術の普及拡大を目指す  長ナスの隔離床養液栽培 試験ハウスの様子		都市と農村の交流に関する事業 【農業センター管理費 R8：67,076 千円】（再掲） 1 市民向け講習会の開催 (1) 家庭菜園講習会 - 野菜の栽培や土づくりの基本を学ぶ市民向け講習会（果菜類の仕立て方法等の実技講習含む） R7 実績：5 回、154 人 R8 予定：5 回、188 人程度 ※日頃の家庭菜園相談にも対応 (2) 農産加工体験会 - アイスクリームづくり・豆腐づくり・トマトジュースづくり体験会 R7 実績：4 回、45 人 R8 予定：4 回、40 人 (3) 「学んで食べてみよう！」講座 農業センターが試験している旭川産野菜をテーマにした、市内での栽培状況や栽培技術、試験研究の目的等の講義と試食を通じ、旭川産野菜の認知度向上につなげることを目的として開催 - R7 実績：3 回（さつまいも 43 人、長ナス 29 人、シャインマスカット 26 人） - R8 予定：3 回（トマト、シャインマスカットほか 各 30 人）   2 農業・農村に親しむ場の提供 (1) 市民体験農園（有料） - 一般区画（16 m²×88 区画） - 有機栽培体験区画（20 m²×16 区画） 有機農業や有機農産物に対する関心・理解を増進するために開設 (2) 農産加工室・和室・ホール（有料） - トマトジュース、豆腐、みそ、アイスクリーム等の農産加工体験ほか (3) 敷地内公園スペースの開放  農業公園